



2021年12月9日

各 位

会社名 株式会社アクセル
代表者名 代表取締役社長 松浦一教
(コード:6730、東証第1部)
問合わせ先 執行役員 管理グループ 植野悦匡
ゼネラルマネージャー
(TEL. 03-5298-1670)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年12月9日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月12日に公表した業績予想及び配当予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日~2022年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,600	450	560	440	40.75
今回発表予想 (B)	10,600	770	930	750	69.36
増 減 額 (B - A)	1,000	320	370	310	-
増 減 率 (%)	10.4	71.1	66.1	70.5	-
(ご参考) 前期実績	8,999	536	705	670	60.63

2022年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (2021年4月1日~2022年3月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,150	490	400	37.04
今回発表予想 (B)	10,200	890	750	69.36
増 減 額 (B - A)	1,050	400	350	-
増 減 率 (%)	11.5	81.6	87.5	-
(ご参考) 前期実績	8,759	725	695	62.84

修正の理由

当期のパチンコ・パチスロ機市場は、旧規則機の設置期限に向けた新規則機への入替えが概ね順調に伸展しており、同市場の規模（年間販売台数）は前年を上回るものと考えております。このような市場環境の中、世界的な半導体市況の需給ひっ迫の影響から多くのメーカーにおいて部材を積極的に確保する動きが見られており、当社の足元の受注動向は高水準で推移しております。一方で、半導体市況の影響から生産面への影響（納期や仕入原価への影響等）が顕在化しつつあり、今後の影響を注視する必要があるものと考えております。

このような状況の中、現在までの受注状況や顧客へのヒアリング、さらには生産面の影響を総合的に精査した結果、パチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIの販売が約44万個の見通し（当初41万個の販売計画）となったことに加え、メモリモジュール製品は顧客の旺盛な需要により計画を大幅に上回る販売見通しとなりました。

以上の状況を鑑み、売上高は計画比10.4%増となる10,600百万円に修正いたしました。売上総利益は売上高の増収に伴い計画比11.1%増の3,500百万円、販売費及び一般管理費は計画比微増の2,730百万円に見直しました。

以上により、営業利益は770百万円（計画比71.1%増）に修正いたします。また、営業外収益にNEDO助成金収入等を見込み、経常利益は930百万円（計画比66.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は750百万円（同70.5%増）に修正いたします。

2. 配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	-	21 円	21 円
今 回 発 表 予 想	-	35 円	35 円
当 期 実 績	0 円		
前 期 実 績	0 円	31 円	31 円

修正の理由

当社は株主還元方針として配当性向主義を採用しております。上記業績予想の修正に伴い、配当予想も修正いたしました。修正後の配当額で算定した連結配当性向は50.0%となります。

（株主還元方針）

当社の株主還元方針は「株主の皆さまへの期間収益の還元」と「機動的な経営を可能にするための内部留保」の適正な水準を勘案し、株主の皆さまへの還元を最大化することです。本方針に基づき利益配当につきましては、当期純利益の50%を配当額とすること（配当性向50%）を原則としております。配当性向50%で算定した配当額が前年配当額を下回る場合には、適正な内部留保を確保したうえで、従前の配当水準を考慮し配当額を検討いたします。なお、配当性向につきましては、連結決算の数値を用いて算定いたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上